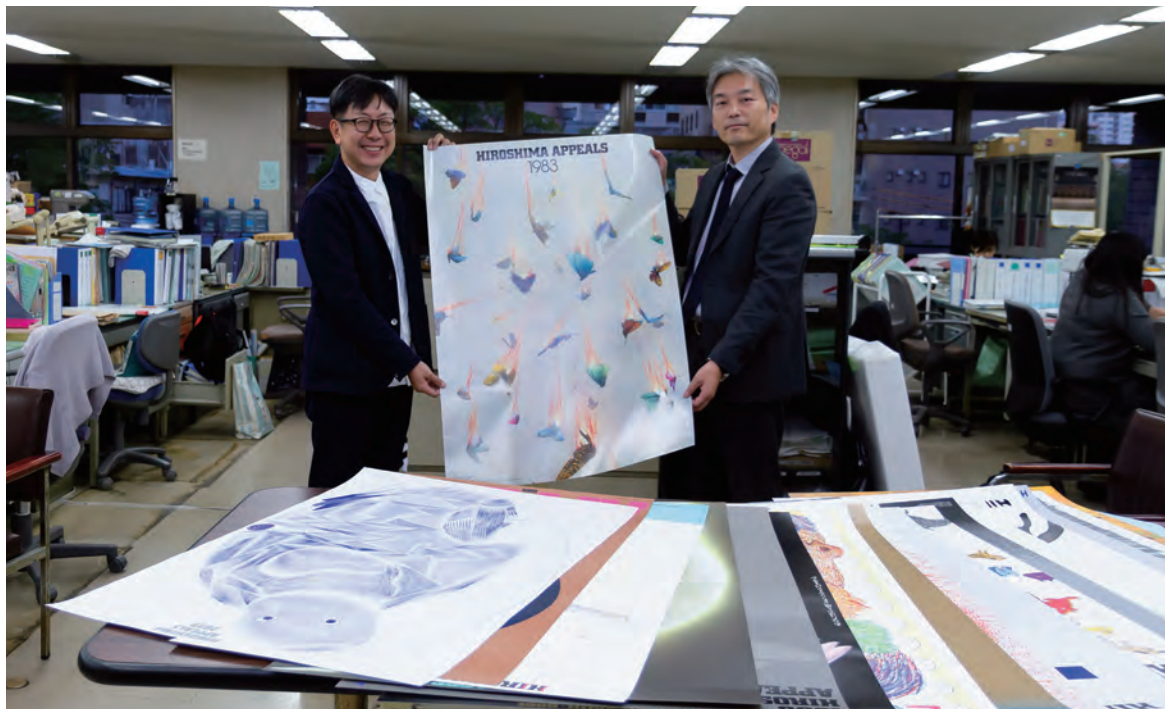


言葉を超えて広島核兵器の悲惨さや 平和の尊さをビジュアルで訴える 「ヒロシマ・アピールズ」ポスター 全22作が広島市よりローマ教皇へ届けられました。



写真は広島市役所 市民局文化スポーツ部文化振興課にて撮影
(写真右)松嶋 博孝、広島市市民局文化スポーツ部文化振興課長
(写真左)関浦 通友、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA) 広島地区代表

ローマ教皇が広島に来られるのを記念して
公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会から贈呈のあった、
1983年～2019年までに制作された全22作の「ヒロシマ・アピールズ」ポスターを
広島市を通じてローマ教皇へ届けられました。

「ヒロシマ・アピールズ」ポスターは、反核、戦争の悲しさを訴え、平和を希求する「ヒロシマの心」を、言葉を超えて
広く内外に訴える事業として、1983年にスタートしました。現在は、JAGDA広島地区、一般財団法人広島国際
文化財団、公益財団法人ヒロシマ平和創造基金が主催。JAGDAを代表するデザイナーがボランティアでポス
ターをデザインしています。

第1回作品の「燃え落ちる蝶」は、当時JAGDA会長だった故・亀倉雄策氏が制作し、後に「ラハティ国際ポス
タービエンナーレ」で最高賞を受賞するなど、大きな反響を呼びました。

今年発表(2019.7.18市へ贈呈)のポスターも含め22作品が制作され、広島市への寄贈のほか一般販売も行っ
ています。また、2005年第6回平和市長会議(2013年から平和首長会議)被爆60周年記念総会において広島
市から平和市長会議参加市長へ寄贈されたほか、2008年平和市長会議の加盟都市への寄贈、2016年G7広
島外相会合のプレスセンターでの展示など、国内外に向けて「ヒロシマの心」を発信し続けています。

「ヒロシマ・アピールズ」ポスターは
右記の共同事業です。

公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA) 広島地区
公益財団法人ヒロシマ平和創造基金
一般財団法人 広島国際文化財団

《参考資料》

本年度の2019「ヒロシマ・アピールズ」ポスターは
2019年7月18日、広島市市長公室にて、松井広島市長へ贈呈されました。



【写真右】
広島市長
松井一實

【写真左】
制作者
澁谷克彦



2019年「ヒロシマ・アピールズ」ポスター
通算22作目

作品タイトル「希望」

制作者 グラフィックデザイナー
澁谷克彦 (しぶや・かつひこ)



1957年東京都生まれ。
1981年東京藝術大学デザイン科卒業
同年株式会社資生堂宣伝部入社
多くの広告やブランドのクリエイティブディレクション、
アートディレクション、CI、グラフィックデザインを手がける。
2012年同社の宣伝・デザイン部長および
エグゼクティブクリエイティブディレクター
2017年よりフリーランスとして活動。

詳しくはこちらをダウンロード
2019.7.18 市政記者室での
プレス発表資料



日本語版PDF http://hiroshima.jagda.or.jp/files/20190718_press.pdf
英語版PDF http://hiroshima.jagda.or.jp/files/20190718_press_en.pdf

《参考》 昨年(2018年)フォーリンプレスセンター掲載「ヒロシマ・アピールズ」ポスター贈呈式
https://fpcj.jp/prlisting/hiroshimaappeals_poster2018/

《参考》

平和首長会議で「ヒロシマ・アピールズ」ポスターを配布

本年10月25日、東京国立市で開催された「第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会」において総会参加者全員へ配布されました。



【写真】第9回国内加盟都市会議総会

令和元年(2019年)10月25日(金) ホテル日航立川東京

▼平和首長会議とは

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/outlines/>

▼第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会について

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/jpmeeting/9th_jpmeeting.html

●本プレスリリースに関するお問い合わせ:

公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)事務局

Tel. 03-5770-7509 Fax. 03-3479-7509

E-mail. jagda@jagda.or.jp